内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術（PELD）を受けられた患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。

研究課題名	内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術（PELD）後の運動指導・患者教育の効果および構築の検討
関係者(所属)	責任者／氏名：樋口　裕太　　（所属・職名）リハビリテーション部・理学療法士 関係者／氏名：沖田　学　　（所属・職名）リハビリテーション部・理学療法士 関係者／氏名：榎本　晃久　　（所属・職名）リハビリテーション部・理学療法士 関係者／氏名：佐藤　正樹　　（所属・職名）診療部・整形外科医師
本研究の目的	より良い術後指導へ活用することを念頭におき、どのような病態の患者が再発する傾向があるのかを分析する。
調査データ該当期間	2021 年 1 月から 2029 年 1 月までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 当院で内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術（PELD）を施行される患者さん ●利用する情報（患者さんを特定できる個人情報は利用しません） 通常診療の評価として行なわれた以下の情報。 患者背景因子(年齢・性別・現病歴・既往歴・合併症・職業・身長・体重・BMI・術式) 身体機能(重症度・筋力・感覚障害・神経学的徴候・アンケート調査の結果)
試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法	他の医療機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを特定できる個人情報は削除いたします。また研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：088―823―3301(代表) 担当者：樋口　裕太　（リハビリテーション部・理学療法士） 沖田　学　　（リハビリテーション部・理学療法士） 榎本　晃久　（リハビリテーション部・理学療法士）

医療法人新松田会　愛宕病院